

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

今週の紙面

- 2面 女性ニュース ■3面 読者のページ/まんが/短歌 ■4・5面 私が選ぶ! ホントに変えるには?/ジェンダー講座/ホットライン ■6面 雑穀を食卓に/母の歴史 ■7面 新婦人の活動/主張/いま教室で



参議院選挙7月20日投開票

ホントにも参院でも 与党を少数に 変える!



おおたいさこ 神奈川県弁護士会所属、横浜法律事務所在籍。新婦人中央委員。各地の憲法講座の講師、オンライン次世代ミニ交流などにゲスト出演。

弁護士 太田伊早子さん

国民民主が期待したような改革者ではなかった。それを象徴的に感じたのが、国民民主の玉木代表の発言です。日本外国特派員協会で行われた記者会見で、外国人記者から「なぜ女性の支持を

玉木代表の発言に感じたズレ

カネにまみれた自民党政治は限界だと、自公政権が少数与党になるという政治状況がつけられた衆議院。さらに参議院で、与党を少数に追い込めるかが問われています。その時、有権者の中で、改革者としての役割が期待

「改革」を託したはずの政党が

目前に迫る参議院選挙(7月20日投開票)。「今度の参院選、どんな選挙?」をテーマに開かれた、新婦人オンライン次世代ミニ交流での弁護士の太田伊早子さんの話(要旨)を紹介します。(2、4、5面)

ヘイト、女性べつ視許さない選択を



選択的夫婦別姓でシール投票。新婦人沖縄県本部

の壁」問題です。

ろうとしているのは、一番うまくいっていない現状

「女性の生きづらさ」

この問題は、課税最低限を見直すという意味では必要なことだと思えます。でも「学生も思いきり働ける」「主婦のパートも増やせる」といった文脈に、私はめっちゃくちや違和感があった。女性たちは、夫の扶養の範囲内で補助的な働き方をしたいと思っているわけではないんです。今の日本社会では、妊娠や出産で女性がキャリアを諦めざるを得ない現状がある。賃金格差も広がっている。そういう「女性の生きづらさ」を根本的に解決してほしい、私たちはそこを望んでいるわけですよ。

「日本人ファースト」が広げる排外主義

もうひとつ、都議選で3議席を獲得した参政党は、特殊な政党だと思っています。政策を聞くと「これはいいんじゃない」と思うような政策を掲げている。例えば、重点政策で「テストの点数よりも本場の学力を」「フリースクール制度の拡充を」「食の安全を守る」など、「これ大切だね」と思わせる、響く感じがありますね。ただし、その

「この壁」問題です。この問題は、課税最低限を見直すという意味では必要なことだと思えます。でも「学生も思いきり働ける」「主婦のパートも増やせる」といった文脈に、私はめっちゃくちや違和感があった。女性たちは、夫の扶養の範囲内で補助的な働き方をしたいと思っているわけではないんです。今の日本社会では、妊娠や出産で女性がキャリアを諦めざるを得ない現状がある。賃金格差も広がっている。そういう「女性の生きづらさ」を根本的に解決してほしい、私たちはそこを望んでいるわけですよ。

「日本人ファースト」が広げる排外主義。もうひとつ、都議選で3議席を獲得した参政党は、特殊な政党だと思っています。政策を聞くと「これはいいんじゃない」と思うような政策を掲げている。例えば、重点政策で「テストの点数よりも本場の学力を」「フリースクール制度の拡充を」「食の安全を守る」など、「これ大切だね」と思わせる、響く感じがありますね。ただし、その

〈2面へ〉

